

なんこく 市議会だより

No. 84

平成30年(2018年)2月号

主 な 内 容

《12月定例会市議会(第399回)》… P2

都市計画法施行条例制定

《11月臨時議会(第398回)》… P3

新正副議長・副市長決定

《12月議会一般質問》…… P4~12

《各委員会委員の決定》…… P13

常任委員会・議会運営委員会

《視察レポート》…… P14

《議決一覧》…… P15

《なんこく歳時季 巻5》…… P16

・学校給食センター

◆ 表紙写真 ◆

1月4日、体育初めが行われ、中学校生徒を中心に約200名が参加しました。市長の年始挨拶の後、市役所をスタートし、市内2キロほどのコースをにこやかに走っていきましました。



発行／南国市議会

E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会

南国市大堀甲2301

TEL 088-880-6570

FAX 088-864-3281



**第399回
12月定例会**

都市計画法施行条例を制定

平成30年4月に県より権限移譲

台風21号被害へ災害復旧費1億1,700万円を増額計上

第399回定例会市議会は、12月1日から14日までの14日間の会期で開かれました。
市長提案の議案28件、議員発議の意見書等4件の審議が行われ、全議案を可決・同意し、意見書等2件を可決しました。

12月定例会議会初日、継続審査となっていた平成28年度の決算議案10件について、所管の常任委員会よりいずれの議案も認定とする委員長報告があり、採決において全会一致で認定となりました。その後、各常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、新たな委員の選任が行われました。

(13ページ参照)

続いて市長より、高知で開催され、皇太子さまもご出席された全国農業担い手サミット

について触れ、本市における次世代型農業や国営ほ場整備による農業基盤整備の推進について述べられ、その他、スポーツセンター周辺の津波避難施設起業地

の用地測量の実施、ファミリーサポーターの事業開始など、教育、民生、観光、農業など主要政策についての市政報告の後、今議会への提出議案についての説明が行われました。5日から8日までの4日間は16名の議員から、市長の政治姿勢、農業、防災、観光、福祉、教育行政などについて一般質問が行われました。

11日には提出された議案に対する質疑と人事案件2件の採決が行われ、人事案件についてはいずれも同意、残余議案は所管の常任委員会に付託されました。

12日には各常任委員会で付託議案を審査し、

14日の最終日には各常任委員長の報告、採決が行われ、全議案が原案のとおり可決となりました。

また、議員から4件の意見書等が提出され、「南国市議会会議規則の一部を改正する規則」「子どものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書」の2件を全会一致で可決し、「憲法第9条の改憲に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求める意見書」「地域のくらしをこわす農協解体をねらう政策の中止を求める意見書」の2件を賛成少数で否決し、閉会しました。

(15ページ参照)

◆ 主な可決議案 ◆

(議決結果は15ページ)

議案第1号

一般会計補正予算
補正予算規模は22億
2814万4千円の増
額計上です。

主な歳出は次の通り。

▽民生費関係：障害者
自立支援給付事業費、
民営保育所等費
▽農林水産業費：農業
振興育成補助金等事
業費

▽土木費関係：街路事
業高知南国線整備事
業費

▽教育費関係：大篠小
学校校舎増築事業費
▽災害復旧費関係：住
宅施設災害復旧事業
費、道路橋梁災害復
旧事業費、小学校施
設災害復旧事業費

議案第10号

都市計画法施行条例
平成30年4月に高知
県から開発行為の許可
等に関する事務の権限
が委譲されることに伴

い、市街化調整区域に
おける開発行為の基準
や開発許可申請の事務
処理に関する事項等を
定める条例を制定する
ものです。

議案第12号

介護保険条例の一部
を改正する条例

介護保険法の改正に
伴い、被保険者等に関
する調査に従わなかつ
た場合等における過料
を科す対象者を拡大す
るために条例の一部を
改正するものです。

議案第15号

職員定数条例の一部
を改正する条例

▽選挙管理委員会：選
挙期間中の事務局体
制の強化（3人↓4
人）

▽教育委員会：文化財
調査員の増員、体制
強化（55人↓58人）

▽消防事務局：新規
採用職員採用後の消
防学校入校を見込ん
だ前倒しの採用（68
人↓71人）

議案第18号

一般職の職員の給与
に関する条例の一部を
改正する条例

国家公務員の給与改
定に準じて、一般職員
の勤勉手当の年間上限
額を0.1月分引き上
げることと給料表を改
定するために条例の一
部を改正するものです。

議案第20号

市議会議員の議員報

酬等に関する条例の一
部を改正する条例

議案第21号

市長等に対する給与
並びに旅費に関する条
例及び教育委員会教育
長の給与、勤務時間そ
の他の勤務条件に関す
る条例の一部を改正す
る条例

国家公務員の給与改
定に準じて、一般職員
の勤勉手当の年間の上

限額を引き上げること
に伴い、市議会議員、

市長、副市長、教育長
の期末手当の額を見直
すために条例の一部を
改正するものです。

議案第27号

固定資産評価員の選
任の同意について

平成29年10月3日を
もって固定資産評価員
の吉川宏幸氏が辞任さ
れたため、新たに村田

功氏を同評価員として
選任するために議会の
同意を求めるものです。

議案第28号

人権擁護委員の推薦
について

人権擁護委員に欠員
が生じたため、後任と
して弘光裕二氏を推薦
することについて、議
会の同意を求めるもの
です。

◆ 第398回 臨時議会 ◆

－ 正副議長・副市長が決定 －

11月6日の第398回臨時議会で正副議長選挙を行い、
新議長に岡崎純男議員、新副議長に有沢芳郎議員が
選出されました。

また同議会では、辞職により空席となっていた副
市長の後任として、村田功氏の選任について同意さ
れたほか、議員選出の監査委員として岩松永治議員
の選任も同意されました。



岡崎純男議長



有沢芳郎副議長

◆ 主な可決議案 ◆

(議決結果は15ページ)

議案第1号 副市長の選任の同意について

副市長として、村田功氏(前農林水産課長)を選任
するにあたり議会の同意を求めるものです。

議案第2号 監査委員選任の同意について

議会選出の監査委員の辞任に伴い、後任の監査委
員として、岩松永治議員を選任するにあたり議会の
同意を求めるものです。

執行部に問う

一般質問

12月議会では、防災・福祉・産業・教育など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約してご紹介します。

◇12月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

氏名緑色 (一問一答方式)、青色 (総括方式)

1 村田敦子 ①台風被害 ②災害時避難 (要配慮者の避難サポート、障害者、医療行為の必要な方の避難所) ③投票しやすい環境 ④三嶺の保全 (鹿防止柵、囲みネット、土砂流出防止マット設置ボランティア活動)

2 高木正平 ①防災 (「生き抜く力」を育む環境、保育所の高台移転から一変して統廃合という防災対策) ②南児童館の現状 (利用状況、安全対策) ③市立公民館の利用について (使用者の制限・使用料について) ④文化施設建築への起動

3 神崎隆代 ①災害対応 (台風21号の被害状況と対応等) ②選挙について (宣誓書付き入場券、投票用紙の配布方法等) ③南国市の遺産 (県内近代建築の中でも第一級との評価のある青年の家の修復と活用)

4 今西忠良 ①公務員の仕事のルール (ガバナンス、コンプライアンス) ②公共交通 (とさでん交通、地域公共交通網形成計画) ③実践的防災教育推進事業 (久礼田小学校) ④南国市地域集会所整備事業

5 西岡照夫 ①南国市をめぐる諸問題 ②都市計画道路と県道 ③国営は場整備の進捗状況 ④県・市補助金交付事業の検証 ⑤中央公民館・大篠公民館合築と文化ホール

6 中山研心 ①組織のコンプライアンス ②「空の駅」事業に対する補助金

7 土居篤男 ①総合戦略について ②十市は場整備改善について ③中学生自死について ④中学生の銃剣道について ⑤財界によるJA潰しについて

8 西川潔 ①市長の政治姿勢 (今議会提案の都市計画条例)

農地の評価差) ③道路行政 (作業道の修復支援、瓶岩体育館への進入橋梁付設)

9 浜田和子 ①指定管理者制度について ②活力あるまちづくり

10 山中良成 ①大篠小増築について (増築のエビデンス、校区見直し及び学校選択制) ②地方公共団体カーボンマネジメント事業 ③禅師峰寺 (峰寺) へのお遍路観光バス等経路問題について

11 有沢芳郎 ①南国市は何件の裁判をしているか ②市役所に警察が入る状態への市長の考えは ③篠原地区の水路撤去問題について ④中須地区の日章水源地の取水問題について ⑤公共入札に関する問題

12 浜田憲雄 ①応急期機能配置計画の進捗状況 ②スポーツセンターの津波避難施設 (命山) ③地震ブレイカーの設置促進 ④地域防火水槽の現状と課題 ⑤公共交通と高齢者福祉・健康福祉バスの導入

13 福田佐和子 ①平和を後世に残す取り組みについて (戦争展、平和資料館) ②介護保険 (国の改悪が与える市民への影響と対策) ③中学生自死 (教育長の答弁訂正、県教委への要請、対応が変わらない異常さ、陳情書)

14 岩松永治 ①安全・安心のまちづくり ②消防行政

15 浜田勉 ①南国市民の水源地、里山に咲く一輪の紅梅 ②6次産業は農家の自立と向上心、条件整備 ③選挙権の行使は民主主義の実践 ④都市計画の遅れが若者を阻害したか ⑤庁内禁煙宣言は市民と共存の決意

16 前田学浩 ①コンプライアンス (法令遵守) を市長就任挨拶でした理由 ②国営緊急は場整備事業のJAへの協力依頼、営農計画 ③地域担当職員制度がなぜ進まないのか

村田敦子 議員



全市民の台風被災状況の把握はできないのか

問 台風21号22号の被災者は市民の半数以上に及ぶのでは。全域の調査で状況把握を。

答 被災状況の把握については、一般住宅の被害は全体を把握していません。各家庭で住宅に対し保険を掛けていると思いますが、保険会社によつては市の罹災証明が必要のないところもあり、住宅被害を受けた全ての方が罹災証明の申請はされておられませんので、全てについては把握できていません。

問 災害保険が掛けられない方は住居修復に生活費を回す。また、生業の被害は収入なし

で設備の復旧費も必要で税の納付は困難。救済措置を講じるべき。

答 災害等による税の減免や免除については、規定に基づき、損害の程度等により決定するようにしています。規定に該当しない場合も、徴収の猶予や分納といった相談に乗ることもできますので、相談に来ていただきたいと考えています。

投票所の環境づくり

問 選挙区と比例区を間違えて記載した無効票は、一枚を記載投票後、もう一枚を渡す方式で解決できるのでは。

答 2度交付の場合、動線で交わらないように確保する必要がありますが、困難な面もあります。できる限り改善に向けて検討していきたいと考えています。

問 期日前投票の最終日は長蛇の列で、待ち疲れて体調を崩した方

もいる。広さと人員の確保と共に、量販店などに投票所を増やし投票率アップを目指せ。

答 期日前投票については、回を重ねるごとに投票者が増加しています。状況を改善していくために、投票所のあり方について検討して、量販店での投票も視野に入れ、市役所の庁舎以外での投票も今後検討していく必要があると考えています。

投票率については、もう少し啓発活動に力を入れていく必要があるのではないかと考えています。



高木正平 議員



大湊保育所の高台移転

問 大湊保育所の津波対策は、高台移転から一変して、津波の浸水が及ばない既存の施設に統廃合するという計画を突如地域に示した。

予測がつかない災害、不測の事態も生じる災害に対して絶対に安全と言えるのか。安全の確証は何なのか問う。

答 最大クラスの南海トラフ地震を想定したハザードマップにおいて津波浸水区域外と想定された施設との統廃合を進めていく施策です。現在の想定では津波の心配がなく、子供の安全という点では、保護者にはより安心していただけると考えています。

南児童館の施設と活動

また、検討している津波浸水区域外保育施設においても、想定外もある可能性を考慮して、高台へ避難する訓練を行うなど、災害に對しより安全な対策を講じています。

問 南児童館は老朽化で危険建物として閉ざされた。代替え施設を活用しているが、津波対策と称し統廃合などの不利益な計画はないか。施設設置の計画は。

答 現在、統合、廃止について検討には至っていませんが、これからの利用状況や地域の児童数など、また放課後児童クラブの利用状況なども勘案して、児童館事業の継続について検討が必要になるのではと考えています。

問 「スポーツ用具がない」「遊んでくれない」等の子どもの不満の声への改善策は。

答 新しく児童館事業を行っている場所には、前のように公園がそばになく、バドミントンを外ですることは不可能になっています。現在の職員が2人体制で、また今利用している子供さんが少し支援、介助が必要であり、なかなか職員が卓球台のある市民館へついに行くことができず、卓球もあまりできていないと聞いています。ただ、卓球は人気がありますので、大きな卓球の台ではなく、机をピンポン台として興じているという話は聞いています。職員がなかなか遊んでくれないということは確認ができてませんでしたので、注意をしていきたいと考えています。

神崎隆代 議員



選挙について

問 今回の衆院選の期日前投票は混雑していた。これまでも混雑解消のための宣誓書付入场券の導入を訴えてきたが、取り入れなかったのはなぜ。

答 選挙管理委員会では変更という議論には至っていませんが、混雑緩和策の一つとして有効な方策であると思いますので、他市の入場券も参考にしながら検討を進めたいと考えています。

問 次回選挙から導入について問う。

答 再来年の県議会選挙までには十分時間もありますので、前向きに検討していきたいと思っています。

問 無効票・白票を減らすよう、投票用紙を一枚ずつ交付しては。

答 2度交付については、動線を確保していくことも含め、有権者が投票を間違えないように、できる限り努力したいと考えています。

南国市の遺産

問 青年の家の建物の現状は。

答 埋蔵文化財発掘調査で出土した土器などを保管しており、現段階でそれ以外の用途にする考えはありません。

問 修復する方法は。

答 修復保存の観点から登録有形文化財にするならば、その後の利活用まで含めてどうするかを決めてから、国の調査の順番待ちになると思います。

問 耐震診断する場合、費用の捻出と方策は。

答 簡易な積算で、耐震診断、耐震補強計画の策定費用は約1, 6

00万円。多額の財源が必要となる事業が今後続くので、市単独予算で捻出するのは厳しいと考えます。

問 専門家の評価が高い同建築物に対する所見を問う。

答 昭和初期の建築で外観は歴史を感じさせる趣のある洋風建築物で、内部のつくりも細かいデザインなどしゃれたものとなっており、建築当時の世相が反映されている存在感のある建物と考えます。

問 修復活用を望む市民の声がある。保存の検討を。

答 大規模な改修が必要で相当の費用がかかることが予想され、現状では難しいと考えています。幅広く市民、関係者の意見を頂戴する中で、利活用のあり方や補助制度の研究を重ねたいと考えます。

今西忠良 議員



高知県実践的防災教育推進事業

問 南海トラフ巨大地震の発生に対し、子ども達の生命を守るために知識を備え、正しく判断する力を育成する実践事業に取り組んでいる。久礼田小の取り組みの成果、北陵中学校での実践と成果の共有、地域や防災関係との連携体制を問う。

答 今年度は、実践校と近隣の学校に安全を推進するための中核となる教員を配置し、モデル校での実践成果を共有するとともに、地域全体の連携体制の構築を図ることが継続的にできていると思っています。3年目の先進校、奈路小学校の意識

の高さを北陵ブロックに広めるだけでなく、それぞれ行っているモデル校での実践の成果を共有するとともに、他の校区でも広げていくことができるよう努力を続けたいと思っています。

公共交通への課題
交通は公共の福祉

問 公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり持続させていくことが市民の移動の権利を保障することになる。①とさでん交通の事業再生計画②会議での政策提言と路線の再編③市の公共交通網形成計画の現状と課題④委託3路線の運行状況を問う。

答 平野部のバス路線は利便性を追求すれば運行経費が上昇する関係にあり、地域ごとの公共交通需要に柔軟に対応できない課題はあります。この点に対応

すべく、中山間地域で運行する乗り合いタクシーなど多種多様の交通モードの組み合わせの検討も含め、より効率的な路線網の形成を目指して本市の公共交通の基本計画、南国市地域公共交通網形成計画の策定に現在着手しています。

医大久枝線、植田J A高知病院線、前浜J A高知病院線、3路線のICカードですかの利用状況からの推計で、3路線の合計で平成24年の運行の開始当初は約3万4千人という推計の利用者でしたが、近年では年間約4万人の利用とふえている状況です。



西岡照夫 議員



県・市補助金交付
事業の検証

問 県・市の産業振興補助金を活用し、地産地消をコンセプトに平成27年10月にオープンした農家レストラン、ベーカリーの現代企業トリトンについて、当初の計画通り県内や南国市産の食材を使用しているか。使用比率を問う。

答 地産地消をコンセプトにオープンした農家レストランを展開している現代企業グループのトリトンの地産地消率は、県内産80%以上を目標に食材調達しており、直近28年度の達成率は県内産84.3%です。

店内に良心市を設置

し、南国スタイルや敷地内栽培の農産物を販売して地域野菜のPRに努めるとともに、シャモカレーパンの現代企業社全店での販売や地元食材の活用方法を随時提案、試食することでレギュラー商品をややしつつあり、山地酪農のミルクを使っていると考えています。

中央・大篠公民館
合築と文化ホール

問 平山市長は、大篠公民館、中央公民館の建て替えに伴う文化行事も行えるホールを含む複合施設の建築について、早い段階で検討委員会を立ち上げ、実現に取り組むと述べられました。メンバーの構成、建設までのスケジュールについて問う。

答 施設の構想には、市民、大篠地区住民の

意見を反映、調整する必要がありますが、中央公民館運営審議会に大篠地区の公民館長、運営審議会など、大篠地区関係者も交え、また社会教育委員、文化団体関係者、学識経験者を交えた委員会として基本構想を進めていきます。この作業を今年度から平成30年度にかけて、基本設計及び実施設計を平成30年度から31年度に行う予定です。

また、平成30年度には、用地測量及び地質調査も予定しています。

平成31年度は既存施設の解体、造成工事などを予定しており、建設工事は平成32年度から33年度にかけて建設する予定です。

中山研心 議員



コンプライアンス

問 退職した特別職退職金の返還規定を示せ。

答 退職手当の支給後、在職期間中の行為に係る刑事事件に関し禁錮以上の刑に処せられたときに、退職手当を返納させることができる。となっています。

問 権限の大きい特別職は高い倫理観を求められる。より厳しい返還規定が必要では。

答 一般職の退職手当の条例では、第8条で支給制限の場合を上げており、返還についてもそれを準用していく方向で、条例改正を含めて検討する必要があるかと思えます。

問 直属の上司が不正を働いた場合、それを

補佐する立場にある者の責任・処分についてどう考えるか。

答 上司の不正がわかっているにもかかわらず、同じような責任を問われるかと思えます。それを知らなければ罪にはならないとは思いますが。

問 処分の対象は、場合によるかと思いますが、知り得ることが可能な場合には、懲戒審査会で協議して決定していきたいと思えます。

「空の駅」事業

問 9年目にして商品材料の資金さえ自前で手当てできない事業が「持続可能な地域活性化の取り組み」と言えるか。

答 協議会の経営、運営の仕組みとして無理が生じている部分もあり、今のままでは持続可能な取り組みとはな

かなか言いがたいところがあると思えます。

これからの協議会運営のあり方について、経営の専門家の指導も仰ぎながら協議会とともに協議を進めているところでは。

問 補助金額に見合う事業効果があるか。

答 単純に費用対効果の点では、満足ができるような効果を生み出しているとは言いがたいと思えます。南国市の特産品である四方竹の認知度アップ、また農家所得のアップという面では、貢献してきたと思っています。

問 事業の存廃も含め、抜本的見直しを求める。

答 空の駅事業は見直すタイミングも何度かあったと思うところで、このまま先延ばしにはできませんので近く判断したいと思えます。

土居篤男 議員



まちひつじつ
総合戦略について

問 市勢の減退を防ぎ活力ある市をつくるために、まち・ひと・しごと創生総合戦略を5年目標で立てている。中間の年にあたり、各項目の目標に対する進捗状況と今後の見通しについて聞く。

答 総合戦略の効果は、これ以外の要因もあるとは思いますが、人口ビジョンの推計人口とその時点の人口との比較で効果の一つをはかれると考えています。人口は目標推計を上回っている状況ですが、平成17年国勢調査時の約5万人をピークに減少し続けており、経済

活動を支える生産年齢人口の増加を将来にわたり継続させ、年少人口をふやしていく構造にするには相当の期間がかかると思います。

この総合戦略以外にも、事業期間が長期となる都市基盤・農業基盤の整備などにも、総合的に取り組んでいくことで効果は上がっていくと思いますので、総合戦略に掲げた事業の着実な実行が重要と考えます。

財界による農協潰しについて

問 規制改革推進会議に名を借り、政府は農業協同組合の活動破壊を狙っている。農協の総合事業から信用と共済事業を取り上げ、農業への営農指導を不可能とすること。狙いは120兆円とも言われる「金」である。農業政策をどう進めるか。

答 多くの単位農協は、

経済事業の赤字を信用事業や共済事業で補填しています。そして、信用共済の主な顧客は正組合員とともに準組合員です。農業従事者が減り続ける環境下でも、農協の金融事業が拡大してきたのは準組合員の増加によるところが大きくあります。今、政府は農業の大規模化を支援しています。大規模化に極端にかじを切った場合、小規模農家、家族農業が急速に淘汰されると思います。集落で農地を守る手段としての大規模農業の必要性とともに、小規模農家や家族農業が共存する農村地帯でなければ継続した農業は継続できないのではないかと。その中には農協というパートナーが必ず存在しなければならぬと考えます。今後も農業振興のために農協と協力していきたいと考えています。

西川 潔 議員



開発規制緩和条例

問 提案の規制緩和基準は、5月に公表した案から、特に集落拠点エリア、インター周辺エリアが大きく後退している。人口定住や雇用の創出づくりにはつながらない。真に南州市の発展施策となるよう再提案してはどうか。

答 緩和範囲が広過ぎではないか、地区計画を優先させるべきではないか、開発審査会の活用等の段階的な運用が必要でないか等の意見があり、協議調整の結果、現在の南国インターチェンジ付近の半径1キロメートル区域内で、ただしなんこく南インターチェンジと高知龍馬空港インター

チェンジは、かつ国道道路境界から百メートルの範囲とすることとし、高知県開発審査会提案基準での運用に至りました。2年という期限を区切って見直しを検討するという県からの回答がありました。市としては遅くとも2年と見ています。2年を待たずこのままではだめだという状況であれば、当然見直しの検討もしていただくように県には協議していきたいと思っています。

山林化した農地への課税

問 上倉・瓶岩地区など、市の北部を中心に多くの田や畑が山林となっている。課税は、現況地目での課税であり、高い課税がなされている。その実態を9月議会で指摘した。是正のためにどのような取り組みを進めているか聞く。

答 現況地目の把握は、職員の見回りや各課との情報連携、航空写真等の利用などによって努めています。十分ではないところがありますので、課税地目が合わない納税者には、申告による協力をお願いもして把握していきたいと考えています。本年度、都市計画区域外の航空写真と重ね合わせる地番図のデジタル化を進めていますので、現況地目の把握にも役立つと考えています。資産についての課税の明細などがわかる縦覧期間があることもPRし、課税状況を見ていただいて、もしそれが違う場合であれば課税の変更、修正や更正などもししていきたいと考えています。

浜田和子 議員



指定管理者制度

問 指定管理者の評価について、労働環境は社会保険労務士協会等、経営財務は公認会計士等に委託するなど、モニタリング評価が必要と思うがどうか。また、働きやすい職場づくりのため、職員の声を聞き取る仕組みづくりの実施を求める。

答 今後、モニタリング評価を実施していきますが、その方法と評価項目は他市などを参考に定めます。社会保険労務士は法人で依頼していますが、会計士は法人で依頼していないということです。費用の問題があるので、依頼する方法とどちらの負担になるかは協議

していきます。

従業員50人未満の事業者では衛生委員会の設置の義務はありませんが、ストレスチェックシートの配布、分析などが有効ではないかと考えます。この分析で一定のアンテナの役目は果たせると思いますが、実施方法は総務課の助言をいただきながら検討します。また、労働者の110番のような相談窓口もありますので、そのPRにも努めてまいります。

力あそびなび

問 大型クルーズ船の外国人観光客を南国市に誘導する仕組みが必要。速やかに実行すべきだ。併せて外国人旅行者等が利用する免税店を空港以外にも設置するとともに、後免の由来に基づき「免税の街南国ごめん」を市外に発信する仕組みをつくって市外からの集客

に努めるべき。

答 大型クルーズ船の外国人観光客誘致の際には、商工会、観光協会、それぞれ特色を持ったメンバーの協力も得ながら実施していければと思っています。また、広域観光組織等にも県内の有力な観光施設もあるので、そういった部分の協力も得ていければと思います。南国市内で消費税免税店としての要件クリアの可能性があるので、西島園芸団地、道の駅かと考えています。インバウンドの誘致施策の検討とあわせて、西島園芸団地等において通訳機能も含む体制整備など、免税店登録が可能か、またメリット、デメリットなどの検討も行っていけたらと思います。

山中良成 議員



大篠小増築は必要か

問 最大児童数になるまでの経過は。

答 大篠小学校では、平成32年に新入学生数が178名で最大となり、その後数年間は170名が続く予想です。

問 校区見直し検討会を開かない理由は。

答 校区の線引きの議論は、ほかの地域での状況も見ると非常に長い時間がかかり、なかなか合意形成できないということ、まずは直面している学級数の増について改築から始める計画をしています。

問 学校選択制の今後の計画は。

答 隣接校選択制については、大篠小学校の

新入生に対する7、8%を予測しており、今年度14名、来年度の予想が11名で、大体それに近づいてきていると考えています。

問 体育館やプールの改修、照明LED化を優先すべきでは。

答 校舎の老朽化も進んでおり、プール、体育館も含めて総合整備計画を現在立てていますので、その中で検討していくべきこともあると考えています。

問 建設後の空き教室、スペースの活用は。

答 今後減少期に入って空き教室ができれば、現在行えていない少数指導や個別指導に利用するようになると考えます。

久枝十市線の改善

問 峰寺へ行く観光バスや自家用車が近隣のブロック塀等を破損するなどして住民が困っている。道路の拡幅は

可能か。

可能か。

答 家屋買収、移転等に伴う大型の計画となると難しいと考えます。

問 県道春野赤岡線から直接峰寺へ行くルートはできないか。

答 技術的には現地の測量で判断できると思いますが、公共性の点からは不相当と考えます。

問 観光バスが通過時に地震が起きた場合の対策は。

答 十市地区は、倒壊のおそれのある危険な建物やブロック塀などの洗い出しも行っており、緊急津波避難場所避難するための経路の見直しやブロック塀の除却、住宅の耐震化などの取り組みを進めることなども含め、地域津波避難計画の見直しを検討していただく必要があると思っています。

有沢芳郎 議員



篠原地区の水路撤去問題について

問 篠原地区の水路の境界を決めるのに、法定外公共用財産管理条例で法定外か道路側溝かの区別もせず、市長代行と地権者が境界を確定して測量図面もでき、土木委員も呼んで立会する予定だったのになぜ通告書を出して裁判になったのか。

答 水路移設について市長職務代理者である吉川副市長が相手の方と合意をされていますが、顧問弁護士の水路移設工事をすべきでないという意見があり、市長の就任した後の判断待ちになっているということを建設課、総務課から聞いたのが8

月7日のことでした。

翌8月8日に吉川副市長と建設課、総務課で協議をした際、吉川副市長が相手方と合意

したことを示す多数の文書を見せられたことから、法的判断が必要と考え、顧問弁護士に相談すると、やはり水路移設工事を実施すべきでないという意見であり、顧問弁護士が代理人となってくれたということです。

日章水源地取水問題

問 昭和44年に人道上の見地から金堂市長と中須部落が覚え書きを結んだが、契約違反の膨大な取水、無許可地区への水道管敷設、中須部落への暴言、違反案件に対する不誠実な対応、同意契約書の紛失等の問題について、市民の立場に立ってどう解決するのか。

答 約束以上の水量を南国市で使っていたと

いうことは、行政として中須部落の皆さんには大変申しわけないことをしてきたと思っています。

今までのお怒りの心情はよく理解できますが、それについて市としてどういう対応ができるか、できる対応を話し合っていきたいと思っています。



浜田憲雄 議員



スポーツセンターの津波避難施設

問 スポーツセンター利用者と職員、周辺住民の津波避難施設として、また、備蓄倉庫、ヘリポート併設による防災復旧拠点、センター利用者の駐車場対策として必要度の高い重要な施設と考えるが、施設計画の概要、建設スケジュールを問う。

答 スポーツセンター周辺の津波避難施設の概要は、高台の高さは7.4メートル以上とし、その高台部分に競技大会での選手、観客の最大人数、施設従事者及び環境センターの従事者等の合計820人が収容できるよう、820平方メートルの

避難スペースを確保するとともに、建築面積が約300平方メートルの備蓄倉庫を建設し、ヘリポートを整備する予定です。今後の建設スケジュールは、今年度と来年度に基本設計、そして実施設計を行い、用地の購入についても今年度から来年度を予定しています。建設工事は、平成31年度と32年度の2カ年事業と考えています。

公共交通網の見直しと福祉バス導入

問 高齢化が進む中、自家用車を持たない高齢者は、日々の食料品・生活用品の買い出しや通院の交通手段に困り、現行の交通環境に不便を感じている。住民ニーズ・地域の声を踏まえた公共交通網の見直しと健康福祉バスの導入を求める。

答 本年度から地域公共交通網形成計画の策

定を進めており、路線バスの利用状況の分析やアンケートの調査による住民ニーズの把握によって路線の見直しを含めた市の方向性を定めることとしていきます。これからの計画策定の協議の中で公共交通との整合性を図って免許返納者への対策も含めて、より住民ニーズに定めるものにしたと考えています。

南国市が社会福祉協議会へ委託しているあったかふれあいセンター事業の中に、地域福祉計画において要配慮者への支援の充実の取り組みの一つとして移動支援を検討することを盛り込んでいます。

今後もあったかふれあいセンター機能の充実とともに、買い物等への支援の可能性を委託先の社会福祉協議会と一緒に検討していきたいと思っています。

福田佐和子 議員



中学生の重大事態

問 再調査を求める陳情書が否決され、市民からは落胆と怒りの声。

二度目の答弁訂正。いじめ防止対策法や条例、基本方針策定直後に中学生が亡くなったこと等をしつかり認識して検証を。子どもの声を聞き取る先生の手と目を増やす対策を早急に。

答 教員の多忙化については、高知県教育委員会連合会を通じて国への要望も毎年行っていますし、教員ができるだけ子供との時間を確保するために、事案発生翌年からは100人プロジェクトとして、市長にも特別の人員配置をお願いし特別支援員を配置していただき

ました。子供の特別支援の必要性、いろんな子供への対応を100名を目標に、学校現場としつかり連携して子供たちの心、そして育てていくことができるように全力で取り組んでいきたいと思っています。

負担あつて介護なし？

問 同じ介護度でも家族構成や住居、地域で必要度は違う。国は既に要支援1、2を介護給付から除外し、さらに要介護1、2の介護外し、報酬引き下げ、利用状況のチェック、負担増を狙っている。

答 介護保険法改正で要支援の方が利用する介護予防サービスのうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護が全国一律の介護予防給付から市町村が実施する総合事業へ移行とな

り、本市では、総合事業開始前から実施している従来型の介護予防訪問介護と介護予防通所介護のサービスが総合事業に移行しています。

また、二次予防として実施していた事業を緩和された基準による通所型サービスに移行して実施しており、総合事業開始前と同じサービスが提供されています。

市では高齢化率が30%を超え、今後も高齢者は増加していきます。地域で高齢者を見守り、支えていく仕組みをつくることも重要と考えていますし、必要なのは国へも上げていきたいと考えています。

岩松永治 議員



安全・安心のまちづくり

問 災害発生時に屋外にいる聴覚障害者、外国人に情報を伝えるために、LED文字表示板を導入できないか。

答 防災行政無線の文字表示板つき戸別受信機は、聴覚障害者のいる家庭や指定避難所への設置しかりません。屋外にいる人に対して、放送だけでなくLED文字表示板などによる目視できる情報伝達方法も検討する必要がありますかと思ひます。

問 防災無線の内容を後で確認できる確認ダイヤルの周知啓発は。

答 広報に2度掲載し、周知を図っていますが啓発不足は否めません。

今後は広報やホームページの掲載、地域での研修時など周知に努めていきます。

問 津波ハザードマップの見直しが必要と考へるが、今後の予定は。

答 高知東部自動車道高知南国道路は、津波発生時に堤防の役割を果たすとも考えられ、津波の浸水区域が変更になると考えられます。見直しの時期は、物部地区が完成してませんので、自動車道の市内に係る区域全体が完成してからと考えています。

消防行政

問 現在、災害対応高規格救急自動車、軽四救急自動車を含め4台での対応が可能となつた。現在の消防職員定数で対応が可能なのか。

答 対応が難しい場合でも、当務隊長の判断で、非番の招集、応援協定に基づく隣接消防

本部への応援要請を行うなど、今ある消防資源で適切に対応していきたいと考えています。

問 救急搬送時間は短いほど助かる命も多い。救急車にICT機器の導入が進んでいるようだが、出動後から病院搬送までの方法を伺う。

答 通報で傷病者の住所、状態などを確認して出動、現場到着までに高知医療ネットで現在の病院の受け入れ状況を確認します。高知医療ネットは、県内の消防本部、医療機関で構築されたシステムで、ドクターヘリ、県内の全ての救急車の運行状況、各医療機関の受け入れ可能診療科が救急車内の端末で確認できます。この情報をもとに傷病者のさらに詳しい状態を確認した後、最終的には電話で病院に連絡して搬送先が決定します。

浜田 勉 議員



里山に咲く一輪の紅梅

援については、協議会の試験栽培や中山間地域振興拠点の道の駅南国での支援も考えられると思います。

なお、この梅が南国市の中山間地域の特産品として、さらに6次産業化として夢工房での加工による土産物になればと一層の夢が広がっています。

庁内禁煙は社会常識

問 市長は市民の健康管理者としての務めを

問 中山間の深刻さは待ったなし。新たな露茜に白木谷と行政がロマン性を共有する。夢のファクトリーは、ふるさと産品を二次加工に、日本一の四方竹の逸品と並んで母ちゃんレストランの賑わいを演出。道の駅の息吹を全国に発送せよ。

答 露茜はほかの梅と

違い収穫時期が遅く、孟宗竹の収穫時期と重複しないため、労働力の分散につながり、梅の収穫は軽作業なので、高齢者にも対応が可能かと思えます。

中山間地域で耕作放棄地の解消策にこの梅を考えており、栽培支

予防として取り組んでおり、市庁舎も平成30年度より庁舎施設内禁煙を予定しています。また、小中学校全てにおいて施設内及び敷地内禁煙を達成しており、喫煙防止教育などたばこに関する健康教育を実施しております。

今後は、喫煙者の方々に対し、みずからの身体を守り、周囲の皆さんの健康を守るためにも、禁煙や喫煙本数を減らす、喫煙場所を選ぶなどの行動を起こす必要性を理解してもらうため、イベントなどの機会を捉え、禁煙や受動喫煙防止を啓発していきたいと考えています。



前田学浩 議員



コンプライアンス①

問 8月の市長就任の挨拶時に「コンプライアンス（法令遵守）」

を敢えて話した理由を聞く。市の職員にとって法令遵守は当たり前ではないか。また、突然辞職した副市長は、コンプライアンス上に問題はなかったのか。

答 今まで地方公務員

として30年以上働かせていただき、飲酒運転、借金の関係、それによって業務がなかなかうまく集中してできない状態といった職員も何人か見てきたところで、中には逮捕につながった事件もありました。公務員として働く上で、住民の信頼を得るためには、法令遵

守が最も大切であるという意識があり、まず皆さんに伝えたということです。

副市長の辞任の件については、コンプライアンス上に問題があると思っています。ただ、必要なのはわざとやらなかったとは考えていないところです。



▶市長就任時の職員への訓示

コンプライアンス②

問 10月初旬の議会・

総務常任委員会時ににおいて「他市商工会で不祥事が発覚した。南国市が補助金を出している市商工会は問題ない

か」と聞いたが「確認中」との答弁であった。2カ月経過した今議会までに市長は報告を受けていないか。

答 (市長) 正式に私の耳には入ってきておりません。

(商工観光課長) 商工会に確認したところ、その件について、県から調査等が入っていることを確認しています。また改めて市長に報告があると聞いてますので、報告がありましたら、正式にお知らせしたいと思っています。



常任委員会 (総務・産業建設・教育民生)、議会運営委員会の 新しい委員が決まりました。(◎…委員長、○…副委員長)

総 務 常任委員会

総務、財政、企画、税務、
危機管理、消防、他の常任委
員会の所管に属さない事項
【任期 1 年、7 名】



◎浜田憲雄
無所属
(浜改田)



○土居篤男
日本共産党
(十市)



岩松永治
無所属
(久礼田)



西川 潔
無所属
(岡豊町)



前田学浩
無所属
(稲生)



岡崎純男
無所属
(福船)



福田佐和子
日本共産党
(大堀甲)

産業建設 常任委員会

農林水産、農業委員会、建設、
都市整備、商工観光、上下水
道に関する事項
【任期 1 年、7 名】



◎山中良成
無所属
(大堀甲)



○植田 豊
無所属
(岡豊町)



神崎隆代
公明党
(日吉町)



有沢芳郎
無所属
(田村)



中山研心
民進党
(元町)



小笠原治幸
無所属
(陣山)



浜田 勉
日本共産党
(片山)

◇ 議会運営委員会

【任期 1 年、10 名】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・
委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮
問に関する事項及び議案・陳情等を審査する。

◎委 員 長／西川 潔

○副委員長／神崎隆代

委 員／植田 豊、山中良成、土居恒夫、
前田学浩、浜田 勉、福田佐和子、
西岡照夫、今西忠良



教育民生 常任委員会

教育委員会、福祉、保健、
環境に関する事項
【任期 1 年、7 名】



◎村田敦子
日本共産党
(東崎)



○高木正平
無所属
(前浜)



土居恒夫
無所属
(十市)



野村新作
無所属
(篠原)



浜田和子
公明党
(大堀甲)



西岡照夫
無所属
(大堀甲)



今西忠良
社会民主党
(久礼田)

議 会 日 誌

10月	2日・市政連絡会 ・総務常任委員会 11日・市議会だより編集委員会 13日・教育民生常任委員会 17～18日・高知縣市議会議長会視察研修 (神奈川県横須賀市) 20日・産業建設常任委員会
11月	1日・全国民間空港所在都市議会協議会 臨時総会(豊中市) 6日・市議会臨時会 8～9日・南海地震対策調査特別委員会 行政視察(海南省・西宮市) 20日・市政連絡会 28日・西島園芸団地調査特別委員会 30日・議会運営委員会
12月	1～14日・第399回市議会定例会 1日・市議会だより編集委員会 14日・市議会だより編集委員会

行政視察受入状況

【H29.10月～12月】



自治体名・人数(会派名等/視察内容)

- 10月19日 茨城県結城市・9名
 (教育・福祉委員会/ICT教育)
- 北海道江別市・3名
 (江別未来づくりの会/食育)
- 10月25日 東京都大田区・4人
 (公明党/津波避難タワー)
- 11月13日 福井県敦賀市・4名
 (同志会/学校給食)
- 11月15日 富山県富山市・2名
 (誠政会/教育の情報化の取り組み)

特別委員会視察レポート

南海地震対策調査特別委員会(11/8～9)

和歌山県海南市・兵庫県西宮市

和歌山県海南市の塩津区防災会は、生まれ育った住民が多くコミュニティ意識が強い特長を生かして細部に渡って組織化されており、「自分たちでできることはすべてやる」を合言葉に活動しています。各種防災訓練の参加率は90%と非常に高く、補助金を活用した防災資機材がしっかり整備されているなど、住民の防災意識の高さがうかがえました。今後は、要配慮者支援体制づくりや夜間津波避難訓練等の実施、人材育成が目標・課題とのことでした。

兵庫県西宮市は、人口が南国市の約10倍、予算規模も大きく異なり、年間50回にも及ぶ出前講座を開くなど、人的被害を最小にすべく防災減災対策に力を入れています。また、避難先には、高齢者、幼児、女性に配慮した生活用品やプライバシーテント、段ボールベッドなどが備蓄されているとのことでした。津波犠牲者を極力少なくする対策や防災公園の整備など、予算のかけ方は真似できるものではありませんが、取り組まれている内容からは、阪神淡路大震災を経験し復興を成し遂げた自信とたくましさを感じました。



議決結果一覧(12月定例会)

■11月臨時会(11/6)

◆議案

1号・副市長の選任の同意について 2号・監査委員の選任の同意について ……全会一致で同意

◆報告

1号・平成29年度一般会計補正予算の専決処分の承認について ……承認

■12月定例会(12/1~14)

◆議案

《28年度決算》(9月議会継続審査分) ……全会一致で可決

1号・一般会計歳入歳出決算 2号・下水道事業特別会計歳入歳出決算
3号・住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算 4号・土地取得事業特別会計歳入歳出決算
5号・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算 6号・国民健康保険特別会計歳入歳出決算
7号・介護保険特別会計歳入歳出決算 8号・企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算
9号・後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算 10号・水道事業会計決算の認定について

《29年度補正予算》 ……全会一致で可決

1号・一般会計補正予算 2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 3号・土地取得事業特別会計補正予算
4号・農業集落排水事業特別会計補正予算 5号・国民健康保険特別会計補正予算 6号・介護保険特別会計補正予算
7号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算 8号・水道事業会計補正予算 9号・下水道事業会計補正予算

《その他》

10号・都市計画法施行条例 ……全会一致で可決
11号・工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
12号・介護保険条例の一部を改正する条例 ……賛成多数で可決
13号・地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
14号・消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
15号・職員定数条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
16号・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
17号・職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
18号・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
19号・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 ……全会一致で可決
20号・市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 ……賛成多数で可決
21号・市長等に対する給与並びに旅費に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例 ……賛成多数で可決
22号・市道の廃止について ……全会一致で可決
23号・市道の認定について ……全会一致で可決
24号・高知市及び南国市におけるれんけいこうち広域都市圏形成に係る連携協約の締結について ……全会一致で可決
25号・南国・香南・香美租税債権管理機構の共同処理する事務の変更及び同機構の規約の変更について ……賛成多数で可決
26号・市立スポーツ施設の指定管理者の指定について ……全会一致で可決
27号・固定資産評価員の選任の同意について ……全会一致で同意
28号・人権擁護委員の推薦について ……賛成多数で同意

◆議員提出議案(議発)

1号・南国市議会会議規則の一部を改正する規則(提出者 西川潔議員) ……全会一致で可決
2号・子どものための予算を大幅に増やし、
国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書(提出者 土居恒夫議員) ……全会一致で可決
3号・憲法第9条の改憲に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、
平和主義の諸原則が生かされる政治を求める意見書(提出者 福田佐和子議員) ……賛成少数で否決
4号・地域のくらしをこわす農協解体をねらう政策の中止を求める意見書(提出者 土居篤男議員) ……賛成少数で否決

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名	神崎	植田	浜田	山中	岩松	西川	土居	高木	有沢	中山	前田	村田	岡崎	小笠原	野村	浜田	浜田	土居	福田	西岡	今西	結果
議案番号	隆代	豊	憲雄	良成	永治	潔	恒夫	正平	芳郎	研心	学浩	敦子	純男	治幸	新作	和子	勉	篤男	佐和子	照夫	忠良	
議案12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	×	×	○	○	可決
議案20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	×	×	○	○	可決
議案21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	×	×	○	○	可決
議案25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	×	×	○	○	可決
議案28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	×	×	○	○	同意
議発3号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	—	×	×	×	○	○	○	×	○	否決
議発4号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	—	○	×	×	○	○	○	×	○	否決



給食センター

【学校給食センター】

学校給食センターは、市内4中学校を対象として1300食分を調理する給食施設で、平成28年9月から建設が始まり、平成29年7月に完成。同年12月から中学校給食がスタートしました。

同センターは、食材の搬入から配送までの安全管理が徹底されているほか、廃棄物の減量化を図るため、下処理で発生した野菜くずや回収された残食を粉碎・脱水し、自動的に生ごみ処理機まで圧送するシステムも取り入れられています。

また、調理施設としての機能以外にも、約1.9トンの米が備蓄されており、災害時における配食拠点施設の役割や、調理工程を見学できるルートや研修室も備えられ、広く食育推進を図る機能も持っています。

- 12月定例会市議会の会議録は、3月上旬以降に市ホームページ (<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。
- 次回の定例会市議会は3月2日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。



調理釜



炊飯設備

なんこく歳時季

巻

5

編集後記

今月号から議会だより編集委員が交替となり、新メンバーで出発いたしました。今後も議会の様子を分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

さて、一年度最も寒いこの時期、万病のもとと言われる風邪にも気をつけたいところです。私事ですが、最近コーヒーより紅茶を飲むことが多くなりました。紅茶に含まれる成分のタンニンには殺菌効果があり、風邪予防に良いとお聞きしたからです。また、紅茶でうがいをするのも効果があるそうです。

まだまだ寒い日が続きますが、体調管理にはお気をつけください。

(神崎)

◎市議会だより編集委員会

委員長	神崎隆代
副委員長	中山研心
委員	山田憲雄
〃	村中良成
〃	土居篤男



◆『市議会だより』についてのご意見・ご要望がありましたらお寄せください。